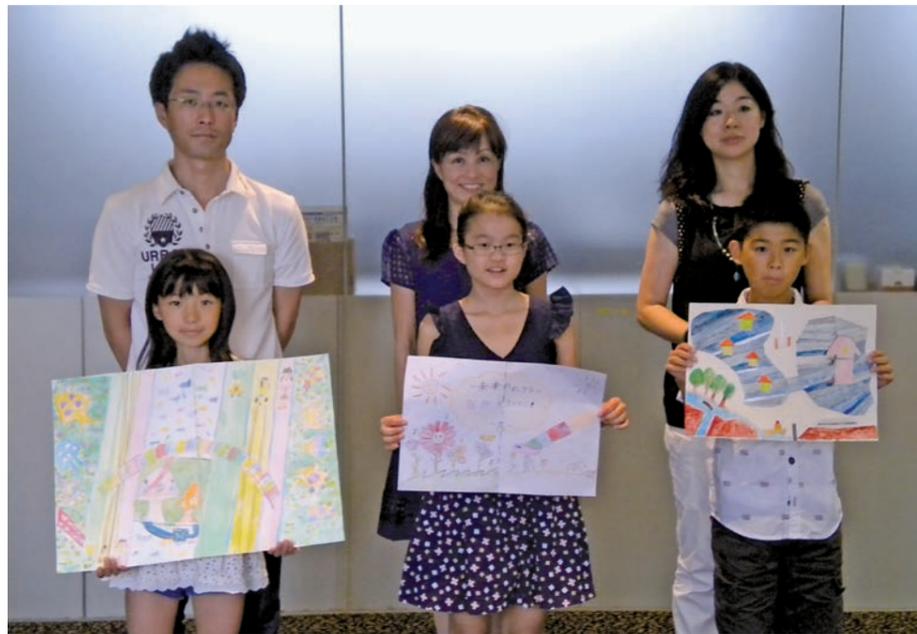


3 子供たちが描く未来のインフラ

東京近郊にお住いの小学生7人に協力していただき、未来のインフラがどのようになっているかを想像した絵を描いてもらいました。

この特集を今読んでいただいている読者も、かつて同じように小学生だった頃、未来をさまざまに想像したことがあったことでしょうか。さて、今の小学生が想像する未来像は、かつての我々と同じような思いなのだろうか。今の子供たちが描く未来のインフラ像を昔を思い出しながら、一緒にのぞいてみませんか。



『しぜんゆたかで安全な町』

いたやごし かな
板谷越 佳那 さんの作品 (小学4年生)



中央に川が流れています。真ん中には水に浮いている学校。学校は島のようになっていて、移動はできないけど建物の高さが調整できます。雨が降って洪水になったら高くなり、晴れると低くなります。また、洪水とは無関係に、自由に高くなったり低くなったりもできます。虹のように見えるのは橋です。今の橋は薄暗い感じがするので、明るい色で綺麗な橋にしました。その橋から子供たちが毎日、滑り台で登校して来ます。緑が多い学校の周りは、水が綺麗でたくさんの魚が見られ、水族館にいるような感じになります。

周辺は色々な形をした、未来のビルというか、高層の家です。これらの家も、学校と同じように高くなったり低くなったりできます。しかし、横に広がったりはしません。最初はキノコの形にしようと思いましたが、全部同じ形にすると、自分の家を間違えてしまうので、色々な形にしました。家の中も同じ形で、緑も多くあります。全体的に色を塗ったところが階段とかで、少しだけ色を塗ったところが部屋になっています。部屋はネコの肉球の形をしたものもあります。

雨がたくさん降った時は、川の水があふれても良

いように工夫がしてあります。降った水はタンクに入れ、その水を機械で綺麗にし、再利用できるようにしています。水は家で使うこともできます。

未来は自転車用の道もできています。その自転車用の道にはレールがあって、そのレールに自転車のタイヤをセットすれば、小さい子でも転びません。また、自転車同士ぶつからないし、混んだりもしません。自転車は自分で漕ぎます。

車は屋根に気球が付いて浮かんでいます。車は道の上を飛んで移動します。乗り降りには道に降りて行きます。走行中、もし気球に穴が開いて事故が起きた時でも、下は緑が多いので怪我をしないようになっています。



『自然な街』

あぶらや こう たろう
油谷 航太郎 君の作品 (小学6年生)



僕が描いた未来の街です。右側のピンク色の建物は指令センターです。街のエネルギーやゴミなどの生活に関係するものをコントロールしています。指令センターは、一つの街に一つあります。

指令センターからは高速で安全なスーパーエスカレーターがあって、ロケット基地やギガリニアモーターカーや超高速船などに移動できます。このスーパーエスカレーターは色々なところに繋がっています。しかも、このスーパーエスカレーターは太陽光パネルになっています。今の太陽光パネルは表面が熱くなったりしますが、未来のパネルは熱を100%吸収するので、裸足で歩いても熱くありません。青い部分には太陽光パネルが敷き詰められています。

また、屋根に積もった雪は近くの太陽光パネルが熱を出して溶かしてくれます。道路は太陽光パネルが敷き詰められているので、除雪作業をする必要がありません。さらに、大雨が降った時は指令センターが太陽光パネルに電波を流し、状況に合わせた指令を出します。例えばこの太陽光パネルのところから、降った雨を海まで流す指示を出します。指令センターには色々な情報が集まって指令を出すようになっています。

森があって、川があって、ここにダムもあります。ダ

ムは電気を作っていて、指令センターが管理しています。指令センターと繋がっているので、普通の家に太陽光パネルはありません。

街中は車とかを使わず、高速のスーパーエスカレーターで移動します。遠くに行く時にはギガリニアモーターカーとかロケットで行きます。宇宙でないところにもロケットは行きます。道路に車は走っていません。道路は人が歩くだけなので、交通事故もありません。ギガリニアモーターカーはかなり速く、東京～名古屋間を約10分で結びます。津波などがギガリニアモーターカーのところに来ないように堤防があります。天気が悪くて太陽光パネルで発電ができなくても、いっぱいあるダムの水力発電で賄えます。金色の超高速船は、水素で動きます。



『自然を大切に！ 花道』

ささ ほのか
佐々 歩花 さんの作品 (小学5年生)



最近花とかが少なくなっているのでもっと増やした方がいいと思います。人間が生きるためには酸素が必要なので、お花とか草がいっぱいあると、植物が大切な酸素を作ってくれます。

道路を歩いていて、緑が少ないなと思って、未来の道がこんなになってくれればいいなと思って描きました。家が幹線道路沿いなので道路脇にあまり



花が咲いていません。その花とかも汚いので、色々な種類の綺麗なお花を描きました。右の絵は花が踏まれているところで、左の絵は草花が喜んでいる様子を描いています。右が悪い例で、左が良い例の絵です。つまり、右が今で、左が未来の絵です。

道路は土とコンクリートから緑の「花道」になります。車道や歩くところの両脇には、たくさんの綺麗なお花があります。ビルにもお花がいっぱいあります。街路樹も、例えば桜並木などがあるといいです。花がいっぱいな緑にあるところにあこがれます。

歩道はみんな普通に歩きます。車は水素自動車で、排気ガスが臭くなく、周りにはお花がいっぱいあります。

『自動運転の車』

とくしげ みらい
徳重 光来 君の作品 (小学4年生)



黒いところが歩道で防犯カメラがいっぱいある道です。防犯カメラがあることで、事故が起きた時など、警察とかがすぐ来て助けられるようになっています。

車は太陽の光で走ります。また車の前後にはセンサーが付いていて、家から出た車は道路に入ると自



動運転で安全に目的地まで連れて行ってくれます。車には人がいっぱい乗ることができます。

中央左側にあるのは信号です。真ん中の緑色の建物はコンビニで、二軒あります。横断歩道もあります。四隅のカラフルなものは飲み物の自動販売機です。

『きっぷとかわかないでんしゃ』

とくしげ まなみ
徳重 茉南 さんの作品① (小学1年生)



真ん中に電車が走っています。駅には改札口はなく、パスモとか切符を使わなくても人をドアのところまで判断してくれて自由に乗り降りできる電車です。電車の下はシマシマは線路です。時刻は夜で、周りにはビルが建っています。

『まっすぐのみち』

とくしげ まなみ
徳重 茉南 さんの作品② (小学1年生)



これは家から鹿児島までつながっている未来の道路です。この道は山も通りますが、橋やトンネルはありません。カーブがなくまっすぐなので、とても早く行ける道です。一番下の列がバス、その上の列が新幹線、その上の列が車、一番上の列が自動のバスが通れるようになっています。丸い水色のものは鏡になっていて、バスや車にモノがぶつかったり、車同士がぶつからないか見えています。スピードはこの中では新幹線が一番早いです。車は人が運転します。



『地下でくらす人々と地上でくらす動物たち』

さし はつき
貴志 葉月 君の作品 (小学3年生)



この絵は、地球温暖化を考えて描きました。

人々は地下に家を作り、生活用品からCO₂を一切出さないようにしました。家で使うエネルギーは太陽光のみです。乗り物のエネルギーは空気を圧縮して動く、とてもエコなものです。

地下水を汲み上げてキッチンで使い、ろ過した水で風呂を沸かし、そのあと室内の畑や地上に撒きます。そしてまた地下水となり、循環させています。

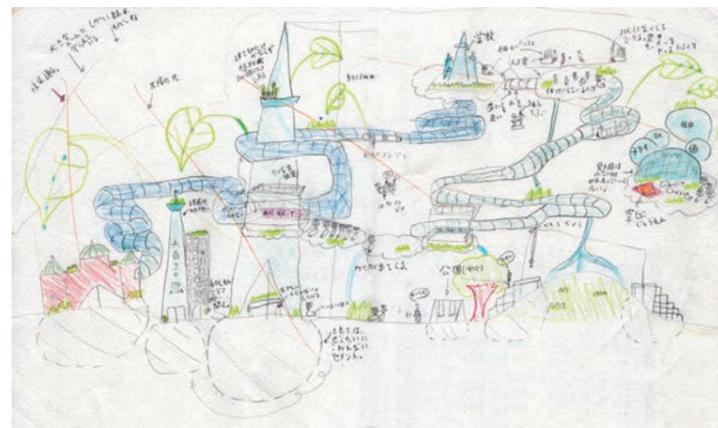
スプリンクラーには太陽光発電装置が取り付けられてあり、家々の電気になります。しかし畑だけは、太陽から直接光を紫外線や赤外線と一緒に取り込みます。畑では昼と夜の寒暖差や時間を変えることができます。

植物工場は地上からエレベーターで降りて行った地下で、広い空間には色々なものを栽培しています。また、地震に強いエレベーターがあり、緑多く、花がいっぱい咲いています。



『私の住みたい未来の町』

おおさわ あやか
大澤 綾佳 さんの作品 (小学6年生)



「スカイツリー」の隣りにあるのは、未来の「新スカイツリー」です。建物の地下は、絶対に壊れないセメントで固めてあり、どんな地震が起きても安心です。

空に浮かぶ学校に行くには「空飛ぶスクーター」で駅まで行って、駅からは「水」が燃料の電車に乗って行きます。学校が浮かぶ雲は、内側に強い板が入っていて、強度を保っています。

見た目は小さい家ですが、中はすごく広い作りとなっています。建物には必ず植物が100個以上あります。植物には水分が行きわたるように、大きな葉で水を垂らしています。ECOを大切にしています。

